

ビニールハウスや温室の状態を簡単に「見える化」！ 東洋電機製造の「遠隔監視システム」は 効率的な農業経営を支えています。

埼玉県で米とキュウリを生産する「江森農園」の江森 正さんが導入した「ハウスメールF」は、ビニールハウスや温室の「見える化」を実現するために東洋電機製造と施設農業用の制御機器などを製造する日本オペレーターが共同開発したシステムです。

「ハウスメールF」を利用するお客様は、クラウドサーバを介してハウス内の状態をリアルタイムにチェックでき、ハウスの温度や湿度などの定時報告や、ハウスに異常が発生した場合の警告をEメールで受け取れます。



いつでも、どこでも、ハウスの状態を
携帯電話で見られるって便利だよ。
ほら、キュウリは自分にとって家族
みたいなものだからさ。

「江森農園」
江森 正さん



東洋電機製造は、交通・産業・情報機器の3つの分野で事業を展開する重電メーカーです。
新幹線 N700 系にパンタグラフ・静止形変換装置（補助電源装置）・主電動機・歯車装置・TD 継手・
力行指令器／主幹制御器を納入。また、新幹線車内で使用する車掌用携帯端末も開発・製造しています。

東洋電機製造株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目4番16号 東京建物八重洲ビル
TEL: 03-5202-8138 (情報機器事業部 監視・制御システム開発部)

<http://www.toyodenki.co.jp/>